

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和7年 5月23日

米子市議会議長様

（会派の場合）

会派名

信風

代表者氏名

中田利幸

提出者氏名

大下哲治

（議員の場合）

議員名



下記のとおり報告します。

記

項目	☐ 現地調査	☒ 行政視察	☐ 要請・陳情活動
	☐ 研修会への参加	☐ 会議への参加	
参加者	太下哲治 安達卓是、伊藤ひろえ		
期日	令和7年 5月19日から 令和7年 5月20日まで		
(視察等年月日・場所・内容)			
【視察年月日】令和7年5月19日 午後1時30分～午後3時			
【場所】夢街道 farm 6 7 兵庫県姫路市夢前町宮置 437-1			
【視察内容】①基盤整備を契機としたスマート農業の導入による生産コストの削減について			
【視察年月日】令和7年5月20日 午前9時～午前10時30分			
【場所】姫路市役所			
【視察内容】②「誰でも通園制度」について			

（視察等の目的）①

【基盤整備を契機としたスマート農業の導入による生産コストの削減について】

スマート農業の推進において、圃場の規模は重要な要素である。一般的に 1ha 以上の圃場がスマート農機の導入に適しているとされているが、国内の多くの圃場は 50 年以上前に整備されたままで、10～30a という小規模なものが大半を占めている。このためスマート農機の推進は進まない状況となっており、作業の非効率性や生産性の低さ、コスト高の要因となっている。こうした背景から、国は圃場の再整備による農地の大規模化と併せてスマート農機の導入を積極的に推進している。本視察では、圃場の大区画化や区画整理といった基盤整備を機に、省力化・精密化を実現するスマート農業技術を導入し、生産コストの削減、労働時間の短縮、収量・品質の向上に成功している先進的な事例を対象に、その取り組み内容、導入効果、そして今後の課題を具体的に把握することを目的とする。

（視察等要旨）

日本の農業が直面する担い手不足とコスト高という課題に対し、基盤整備を契機としたスマート農業技術の導入が、いかに生産コストの削減、労働時間の短縮、収量・品質の向上に貢献し、持続可能な農業経営の実現に繋がるのかを具体的に理解する。また導入においての課題や成功のための要因を把握し、今後の米子市における圃場の再整備及びスマート農業推進に向けた具体的な検討材料を得る。

（視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点）

今回視察した兵庫県姫路市宮置地区では、「20 年後も持続可能な農業」を目指し、土地管理組合と担い手が主体となり、県から紹介された農家の負担がゼロとなる国の補助事業を契機に、自治体と担い手農家が連携して持続可能な農業経営に取り組んでいる。

具体的な取り組みとして、本事業では圃場の大区画化、パイプラインの設置、畦畔への鉄鋼スラグ設置、そしてスマート農機の導入が実施されている。

圃場の大区画化においては、補助事業導入以前は 10～30a であった区画を 1ha 以上に整備することで、スマート農機の導入を促進し、機械の旋回回数を減らすことによる無駄な移動の削減、作業効率の向上、時間短縮を実現している。

パイプラインの設置は、これまで地区内の農地所有者全体で行っていた水路の維持管理作業を不要とし、水の調整を容易にすることで、作業負担の軽減と効率化に成功している。

畦畔への鉄鋼スラグ設置は、従来多くの時間と人員を要していた草刈り作業をなくすこととなった。また、山間部に位置する本地区では獣害が深刻であり、その対策として電気柵を設置しているが、以前は設置に 92 時間を要していたものが、鉄鋼スラグの設置により容易となり 4 時間と 95% の削減を達成した。

令和 3 年に区画整備が始まった本事業の具体的な経費削減効果は集計中とのことであったが、圃場再整備以前に 73 軒であった農家が、現在では 85 歳以上の農家 2 軒と担い手である夢工房の作業員 3 名の計 5 名で農作物の生産と農地の維持管理を担う体制へと変化している。また夢工房ではスマート農機を積極的に導入し、徹底的な作業時間短縮と効率化を図ることで、社員の超過勤務時間ゼロを実現し、安定した

雇用確保に繋がっている。

事業推進における最大の課題は、集落内での意見集約であった。最終的に土地改良組合と担い手の尽力により、1軒を除く72軒の同意を得たが、話し合いあたっては、段階的な手順に基づく丁寧な説明と対応の重要であることを教えていただいた。事業を進めるにあたっては全ての農家の同意を得ながら、着実に事業を進めていくことで重要であり、農地および畦畔の維持管理に関しては、個人間の契約ではなく、全て中間管理機構を通して行うことで、ルールと管理責任を明確化し、将来的なトラブルを回避することが重要であることを学んだ。

今回の視察は、米子市における圃場の再整備とスマート農機の推進に取り組む上で、今後の具体的な手順や直面する可能性のある課題を把握する貴重な機会となり、是非米子市の農業施策に取り組むたい。

（視察等の目的）②

【「誰でも通園制度」について】

2026年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施される「こども誰でも通園制度」についての調査のため。

（視察等要旨）

「こども未来戦略」に基づき、新たに創設されることとなった、「こども誰でも通園制度」は、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、現行の幼児教育・保育給付に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付である。2025年度に子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業として制度化し、2026年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施される。本市で、どのように始まるのか、ニーズはどの程度あるのか、条例化はどのタイミングで行うのか、現状と課題を把握するためにモデル事業を行っている姫路市での視察を行った。

（視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点）

保育所に通っていないこどもを対象に、保育所・こども園において保護者の就労を問わず、月10時間の範囲内で定期的な預かりを行う。

家庭とは異なる経験や家族以外の人と関わる機会を設けることにより、こどもの育ちを応援し、保護者にとってもリフレッシュの時間となり育児に関する負担感の軽減を図る。

月10時間の範囲内は、保護者にとっては時間の上限を上げてほしいという要望があるが、国の基準であり、時間数を増やすと市の持ち出しとなる（時間数をあげている自治体もある）利用料金は1時間当たり300円。利用は、曜日、時間帯を指定した定期利用。申し込み方法は市のオンラインポータルサイトからの電子申請で定員を超

えると抽選により利用者を決定する。

広報はあらゆる手法を用いて周知に努めている。市のなかでも北部にあるこども園は申込状況が低く、申込実績に合わせて調整している。令和6年3園、令和7年は10施設で実施。米子市においても、人口が多い地域の園や少ない園があるため、地域の中でどの施設がどのように始めるのか施設や保育士の余裕や、希望者とのマッチングが必要だと感じた。

2025年度に子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業として制度化し、2026年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施されるため、ニーズ把握や条例化等今年度行う必要があり、その整備が急がれる。

一時預かり事業との関係は、明確にその違いがないが、本事業は「こどもの成長のため」という位置づけが理解できた。モデル事業を利用した保護者の声として、概ね好評であったが、なかには時間が短すぎる、入れないこどもがいる等課題があった。

令和8年4月から、本事業は全国の自治体で実施となるため、モデル事業を参考に米子市内でのニーズ把握を行い必要数を算出して事業実施に迎えるようにしたい。併せて、本事業の目的である「こどもの育ち」を応援するとともに、保護者の育児の負担軽減を図れるよう取り組んでいきたいと思った。

経費	旅費 @ 30,240 円 × 3 人	=90,720 円
	お土産代	=2,484 円
	取扱・発券手数料 @ 1,000 円 × 3 人	=3,000 円
	土地改良区説明料金	=20,000 円
	夢工房説明料金	=33,000 円
	レンタカー代	=7,810 円
	ガソリン代	=233 円
	各議員自宅～米子駅までの自家用車代（往復）km/25 円	
	伊藤議員	=250 円
	太下議員	=750 円
	安達議員	=550 円
	合 計	158,797 円

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

旅費計算表

令和7年5月19日 ～ 令和7年5月20日 (1泊2日)

月 日	区 間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		宿 泊 手 当	宿 泊 費	
							特 別	新 幹 線		(朝食付の額)	17,000円
5/19	米 子 駅 ～ 岡 山 駅	JR	159.1		9,020		2,730		1,600		
(月)	岡 山 駅 ～ 相 生 駅	JR	67.9							14,160	
	相 生 駅 ～ 姫 路 駅	JR	20.7								
5/20	姫 路 駅 ～ 相 生 駅	JR	20.7								
(火)	相 生 駅 ～ 岡 山 駅	JR	67.9								
	岡 山 駅 ～ 米 子 駅	JR	159.1				2,730				
計	議 員 旅 費			30,240	9,020	0	5,460	0	1,600	14,160	0
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 伊藤議員、大下議員、安達議員

議員旅費	30,240 × 3名 =	90,720 円	レンタカー代	7,810	=	7,810 円
お土産代	2,484	2,484 円	レンタカーガソリン代	233	=	233 円
取扱・発券手数料	1,000 × 3名 =	3,000 円	自家用車代 (自宅～米子駅 往復/25)	5km × 25円 × 2 =		250 円 (伊藤議員:片道5キロ)
土地改良区説明料金	20,000	20,000 円	自家用車代 (自宅～米子駅 往復/25)	15km × 25円 × 2 =		750 円 (大下議員:片道15キロ)
夢工房説明料金	33,000	33,000 円	自家用車代 (自宅～米子駅 往復/25)	11km × 25円 × 2 =		550 円 (安達議員:片道11キロ)
		① 149,204 円			② 9,593 円	

①+②= 158,797 円

信風 会派視察
姫路市土地改良センター、兵庫県姫路市

行政視察行程（会派：信風３名）

月 日	行 程	宿 泊 先
5/19 (月)	7:30 9:47 10:13 11:18 11:21 11:40 13:30 米子駅 ===== 岡山駅 ===== 相生駅 ===== 姫路駅 ===== 夢街道 farm67 (夢前町宮置 437-1) JR 特急やくも 6 号 JR 山陽本線 相生行 JR 山陽本線 姫路行 レンタカー 30 分 (約 12 キロ)	昼食・姫路駅周辺
	兵庫県姫路土地改良センター視察 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時まで 【兵庫県議会事務局：藤本様】 ☎ 078-362-9404 【調査項目】 基盤整備を契機としたスマート農業の導入による生産コストの削減について 【視察地区】 県営農地中間管理機構関連 農地整備事業：宮置地区 担い手：有限会社 夢前夢工房 【集合場所・説明場所】 夢街道 farm67 (姫路市夢前町宮置 437-1) 【待ち合わせ】 13:30 ※ほ場整備事業説明 20 分 (土地改良区) + 営農説明 20 分 (担い手) + 現地視察 20 分	
	15:00 夢街道 farm67 ===== 姫路駅 ===== ホテル レンタカー 30 分 徒歩 5 分	【ホテル】 ダイワロイネット ホテル姫路 (JR 姫路駅北口徒歩 5 分)
5/20 (火)	8:50 8:50 ホテル ===== 姫路市役所 送迎車 ※姫路市の送迎車がホテルから市役所まで送迎 8:50 分集合 (小林様同乗)	昼食：姫路駅周辺
	姫路市行政視察 午前 9 時から午前 10 時 30 分まで 【議会事務局：小林様】 ☎ 079-221-2035 【調査項目】 誰でも通園制度について 【待ち合わせ場所】 姫路市役所	
	12:05 12:24 12:26 13:37 14:13 16:27 姫路市役所 ===== 姫路駅 ===== 相生駅 ===== 岡山駅 ===== 米子駅 送迎車 JR 山陽本線 播州赤穂行 JR 山陽本線 岡山行 JR 特急やくも 15 号	